

## 第18回 ちゅうでん教育振興助成（平成30年度）

### 報告書資料 復興支援 — 31

学校名・団体名	九州地区小学校特別活動教育研究会協議会
コース	団体研究
活動・研究のテーマ	第42回九州地区小学校特別活動研究大会熊本大会
〈活動・研究の意義および活動報告〉	
1 大会に至る経緯	
<p>九州地区小学校特別活動研究大会は、九州各県が持ち回りで毎年開催する大会であり、今回の熊本大会で42回目を迎える。毎年、九州県内はもとより、全国各地からもたくさんの教育関係者が集い、現代の教育課題と向き合って議論を重ね、よりよい教育活動を模索してきた。</p> <p>今回、熊本大会を開催するにあたり、熊本県小学校教育研究会特別活動部会では、平成28年度より大会テーマの設定および会場計画等について、準備を進めてきた。しかし、先の熊本地震により、学校へ通う児童・生徒、職員や家族、そして、大会会場に使用するために計画していた建物等も被災し、多くの変更を余儀なくされた。その後、全国各地の学校関係者や多くの法人関係者の方々の温かい復興支援を受け、無事今回の大会が開催することができた。</p>	
2 大会概要 1日目	
(1) 期 日	平成30年8月1日（水）・2日（木）
(2) 大会会場	第1日目 くまもと森都心プラザホール 第2日目 くまもと県民交流館パレア 市民会館シアーズホーム夢ホール 熊本市国際交流会館
(3) 大会主題	「主体的に社会の形成に参画しようとする態度を育てる特別活動の創造」 ～課題を見いだす力を付ける振り返りの工夫～

#### (4) シンポジウム

① テーマ「主体的に社会に参画しようとする態度を育てる特別活動をどう実践するか」

② 「シンポジスト」

大分県大分市立明野東小学校教諭	江藤 晃英
長崎県新上五島町立青方小学校教諭	濱村 弘美
宮崎県延岡市立伊形小学校教諭	淵上 博司
佐賀県佐賀市立本庄小学校教諭	水町 遥香
沖縄県国頭村立奥間小学校教諭	古堅 卓

3 記念鼎談 演題 「特別活動の不易と流行」  
講師 杉田 洋 先生（國學院大學教授）  
講師 脇田哲郎 先生（福岡教育大学教職大学院教授）  
コーディネーター 平野 修（熊本市立清水小学校長）

#### 4 大会概要 2日目

##### (1) 分科会

- 1 学級活動（低学年）・・・・・・ 大分県、熊本県：くまもと県民交流館パレア第1会議室
- 2 学級活動（中学年）・・・・・・ 福岡県、熊本県：国際交流会館
- 3 学級活動（高学年）・・・・・・ 佐賀県、熊本県：市民会館大会議室
- 4 児童会活動・・・・・・ 鹿児島県、熊本県：くまもと県民交流館パレア第7会議室
- 5 クラブ活動・・・・・・ 宮崎県、熊本県：くまもと県民交流館パレア第3会議室
- 6 学校行事・・・・・・ 長崎県、熊本県：くまもと県民交流館パレア第4会議室
- 7 他の教育活動との関連・・・・ 沖縄県、熊本県：くまもと県民交流館パレア第8会議室

#### 5 大会を終えて

大会2日間で、九州各県はもとより、東京・広島などから、467名の先生方に参加していただくことができた。たくさんのスタッフの協力を得て、大きなトラブルや事故もなく、無事日程を終了することができた。

参加者からも「特活の方向性や指導のポイントがわかりやすく示された大会だった」「明日からがんばろうと思える大会だった」「効果的な振り返りの仕方が理解できた」「子ども達にどんな力をつければいいのかわかった」「配慮の行き届いたすばらしい大会だった」などの感想をいただくことができた。

特に記念鼎談では、講師の先生からの実践に基づく話が多く「説得力があった」「もっと話が聞きたかった」「鼎談という形だったので、多面的に考えることができ面白いと感じた」など、とても勉強になったという感想が多く寄せられ、研究主題について大きな成果があった。

会場が複数にまたがったことや、全体会の内容、駐車場や空調の等の課題もあるので、次回に向けての準備を少しずつ進めていきたい。